



ぐんぐん 第11号

～小学校外国語教育の進め方～

出雲教育事務所通信

学校教育スタッフ
平成30年2月発行

小学校では、平成32年度から新学習指導要領が全面実施となります。なかでも、小学校の外国語教育の拡充については、先生方にとって大きな関心事の一つとなっています。小学校での外国語教育が円滑に実施されるよう、必要な情報を提供します。

1 新小学校学習指導要領における外国語教育のあり方（平成32年度より全面実施）

学年	教科・領域	目標	年間時数
中学年	外国語活動	「聞くこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」を通してコミュニケーションの素地を養う。	35単位時間
高学年	外国語科	「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を通してコミュニケーションの基礎を養う。	70単位時間

* 新学習指導要領から「話すこと」が、「話すこと(やり取り)」と「話すこと(発表)」の2つの領域に分かれます。



中学年は、外国語の音声に慣れ親しんだり、外国語と日本語の音声などの違いに気付いたり、コミュニケーションを楽しむ活動中心の外国語活動を実施します。活動を通して、思いやりの心や社会性など集団生活に必要な素地を養っていきます。



高学年は、「聞くことができる」「話すことができる」など定着を目指す教科として外国語科を実施します。「読むこと」「書くこと」は定着まで求めず、慣れ親しむ活動を行います。ただし、アルファベットについては読んだり、書いたりできるなどの定着まで求めます。

2 移行期間について（平成30・31年度）

(1) 取組み方

「①移行措置」と「②先行実施」があり、どちらかを選択して実施します。

やり方		時数	扱う教材
① 移行措置 必ず実施します。 未履修に留意します。	第3学年	15単位時間	「新教材(Let's Try! 1)」
	第4学年		「新教材(Let's Try! 2)」
	第5学年 第6学年	50単位時間	「Hi, friends! 1」及び「新教材(We Can! 1)」 「Hi, friends! 2」及び「新教材(We Can! 2)」
② 先行実施 「移行措置」以上の内容を学習できます。	第3学年	16～35単位時間	「新教材(Let's Try! 1)」
	第4学年		「新教材(Let's Try! 2)」
	第5学年 第6学年	51～70単位時間	「Hi, friends! 1」及び「新教材(We Can! 1)」 「Hi, friends! 2」及び「新教材(We Can! 2)」



* 「Hi, friends」⇨ 現行学習指導要領に対応した教材で、現在、高学年で使用しているもの(文部科学省作成)

* 「新教材」⇨ 新学習指導要領に対応した教材で、移行期間中に使用するもの(文部科学省作成)
なお、中学年用の「新教材(Let's Try! 1・2)」は、移行期間後も使用します。



(2) 学習内容

① 「移行措置」の場合

学年	領域	内容	備考
中学年	外国語活動	【新学習指導要領の内容の一部】 高学年との接続の観点から必要最低限の内容と、それを活用して行う言語活動を中心に取り扱う。	『小学校・中学校教育課程の編成・実施の手引きーQ&Aー移行措置編』参照 島根の教育情報web「EIOS」に掲載中です。
高学年	外国語活動	【現行学習指導要領の内容及び 新学習指導要領の内容の一部】 外国語活動の内容に加えて、外国語科の内容を扱う。外国語科の内容については、中学校との接続の観点から必要最低限の内容と、それを活用して行う言語活動を中心に取り扱う。	

* 高学年は、新学習指導要領の内容の一部扱いますが、「外国語活動」として実施します。

* 「先行実施」の場合は、「移行措置」よりも多くの内容(新学習指導要領)を指導することができます。

②「年間指導計画の参考例」を参照

県教育委員会では、「年間指導計画の参考例」（「移行措置用」「先行実施用」「複式学級用」）を作成しました。年度別・学年別に学習内容を示していますので、参考にしてください。

【平成30年度 6年生 年間指導計画（移行措置用）】

学年	単元	タイトル・題材	総数	表現（児童の発話例）	語彙（児童が使った語彙例）	単数	単元目標（移行用）
新6	1	This is me. 自己しょうがい	8	I like/play(soccer). My nickname is (Ken). I'm from (Shizuoka).	from, nickname, favorite	1	【コ】好きなことなどを おうとする。 【開】自己紹介に関する ことなどを表す表現に慣れ、 文字で自分の名前を書き、 慣れしむ。
	(省略)						
新6	HF2	I can swim. スポーツ 動作	3	I can / can't ~. Can you ~? Yes, I can. / No, I can't.	動作(play, swim, cook, ride) スポーツ(basketball, soccer, baseball, badminton, table tennis, unicycle) 楽器(piano, recorder)	4	【コ】進んでできること ことやできないことを答へ 【開】自分についてでき り、できるかどうかを尋 ね。 【長】 語彙や人、それぞ
			5	She can run fast. He can jump high. できること			
新6	3	He is famous. She is great. 人物紹介	8	I am (Ken). I [like / play] [the violin /baseball]. I (have / want) a new(recorder / a ball).	famous, nut, fresh, old, 身の回りもの (racket,computer, violin, drum)	2	【開】語彙を意識して、 について伝え合う表現に慣 れ【長】(注語・動詞・目的語)を く。

第6学年の学習内容
(新学習指導要領の内容)

第6学年の学習内容
(現行学習指導要領の内容)

第5学年の学習内容
(新学習指導要領の内容)

第6学年の学習内容
(新学習指導要領の内容)

「新6」⇒新教材(6年用)
「新5」⇒新教材(5年用)
「HF2」⇒Hi, friends!2(6年用)

「移行措置」として必ず実施する
50単位時間分を選んでいきます。



【年間指導計画（参考例）作成の視点】

平成32年度の全面実施に向けてスムーズに移行できるように、「移行措置」の内容をすべて網羅して作成しています。そのため、第4～6学年については、それぞれ前の学年で学習しておかなければならない内容も含まれています。

(3) 評価

現行学習指導要領に基づいて評価を行います。

学年	評価の観点	指導要録の記載場所
中学年	3観点に基づいた文章記述 ・「気付き」 ・「慣れ親しみ」	「総合所見」の欄 * 市町教育委員会の対応により異なります。
高学年	・「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」	現在使用している「外国語活動」の欄

ある小学校で外国語活動の授業が公開され、参観されていた中学校の先生が、授業を見終わった後、以下の感想を述べていました。「子ども達がALTに積極的に話しかけている姿を見て感心しました。なによりも、学級全体に活気があり、助け合って活動している子ども達は、すごいと思いました。コミュニケーションの素地が小学校できちんと養われていて素晴らしかったです。中学校で、さらにコミュニケーションの基礎を育てていかなければならないと思いました。」

この先生の発言のように、外国語活動の授業を経験されている先生の多くが、「外国語活動は、学級づくりのツールとして活かせる。」と実感しています。移行期間の2年間で、より多くの先生方に、学級づくり、人間関係づくりに活かせる外国語活動の授業を行っていただきたいと思います。コミュニケーションの素地とは何かを理解いただけると確信しています。

出雲教育事務所 指導主事 荒瀬幸子